

議 公 子 り



安曇野市

第36号

発行 安曇野市議会
平成26年11月5日

安曇野の自慢を探そう!!
わさび田探検 (穂高南小学校3年)

使われたお金は “396億 8,100 万円”	2
—平成 25 年度一般会計決算等を認定—	
9月定例会で決まりました	6
常任委員会で審査しました	8
市政のここが聴きたい！9月定例会一般質問	11
第1回議会報告会	
市民の皆さんからのご意見への回答	22
市民の声・編集後記	24

人口と世帯

平成 26 年 (2014 年) 10 月 1 日現在 ※ () 内は対前月比

人口98,770人(-39) / 男47,872人(-28) / 女50,898人(-11) / 世帯38,150世帯(+31)

平成 25 年度
決算を認定

使われたお金は “396億8,100万円”

市民一人あたりにすると
約 40 万円!

普通会計の歳入は、406 億 7,300 万円で、歳 出は、396 億 8,100 万円でした。

※普通会計とは…一般会計と同和地区住宅新築資金等貸付事業を合算し、重複等を控除した会計区分

平成25年度安曇野市一般会計および特別会計 (単位: 千円)

会計名	歳入	歳出	差引
一般会計	40,680,063	39,687,757	992,306
特別会計			
同和地区住宅新築資金等貸付事業	1,807	1,561	246
国民健康保険	10,762,318	10,465,994	296,324
後期高齢者医療	920,299	904,288	16,011
介護保険	8,088,316	8,013,771	74,545
下水道事業	4,434,748	4,411,173	23,575
農業集落排水事業	188,746	187,119	1,627
上川手山林財産区	3,825	2,044	1,781
北の沢山林財産区	3,017	2,767	250
有明山林財産区	1,393	424	969
富士尾沢山林財産区	1,275	143	1,132
穂高山林財産区	1,186	120	1,066
産業団地造成事業	747	288	459

※千円未満は、端数処理をしているため、差引額に相違が生じています。

一般会計 おもな使いみち

※千円以下切捨て

教育環境の充実と生涯学習のために

【教育費】

38億6,794万円

- ・小学校費
4 億 1,341 万円
- ・中学校費
5 億 4,892 万円
- ・公民館費
6 億 1,728 万円
- ・給食センター費
3 億 1,446 万円



道路等の整備のために

【土木費】

41億4,669万円

- ・道路橋梁費
14 億 8,158 万円
(うち除雪対策費
1億3,879万円)
- ・交通安全施設整備費
2,561 万円



福祉の充実と生活の安定化のために

【民生費】 110億5,820万円

- ・障がい者支援事業
11 億 6,666 万円
- ・福祉医療費給付事業
5 億 5,946 万円
- ・介護保険対策費
10 億 8,833 万円
- ・保育所費
19 億 3,195 万円



農業・林業・水産業のために

【農林水産業費】 19億2,743万円

- ・有害鳥獣駆除対策
1,490 万円
- ・農村集落支援費
1 億 4,184 万円
- ・松くい虫被害対策事業
1 億 9,263 万円



地域産業の振興のために

【商工費】 20億1,325万円

- ・市制度資金貸付事業
9 億 5,151 万円
- ・緊急経済対策事業
7,505 万円



その他

【議会費・労働費・消防費】

17億4,962万円

- ・議会費 2 億 6,710 万円
- ・労働費 9,484 万円
- ・消防費 13 億 8,767 万円



公共施設等の充実のために 借りたお金の返済

【公債費】 43億9,695万円

借金の返済に充てられるお金です。



行政計画の推進のために

【総務費】

78億354万円

- ・選挙費
1 億 5,245 万円
- ・本庁舎建設事業
11 億 1,688 万円
- ・まちづくり推進事業
1 億 20 万円



Q 空き店舗活用支援補助金を延長してほしい!

A 空き店舗等活用促進事業について、平成25年度の店舗運営、経営状況と、補助金の期間延長は、平成25年度末で、飲食業9件、小売業5件、理容業4件、その他4件となっております。経営状況が当初計画どおりにいない事業者が、全体の3割ほどを占めています。この支援制度の目的は、開店を促すための一時的な支援であること、3年間の支援期間は他の自治体と比較して長いことなどから延長は現時点では考えていません。



Q 環境保全効果の高い営農活動に取り組む

A 安曇野市の環境保全型農業の位置づけは、どうなっているか。

Q ブランド力の強化、安全性にこだわった有機栽培などの農作物の生産推進のため「環境にやさしい農業の推進」を掲げ、国の環境保全型農業直接支援対策を活用し、環境保全効果の高い営農活動に取り組む農業者を支援している。

Q 火災の見舞金10万円とは低すぎないか?

A 火災等の被害者への見舞い金額が余りにも低額ではないのか。また、近隣市町村などと比べてどうか。

Q 災害救助見舞金の多いか、少ないかというのには難しい。規模の大小にかかわらず法的な支援がないため、見舞金を支給している。近隣の市町村においては、額は一律ではない。自然災害は大規模な被害となり、法律上は災害弔慰金の支給等に関する法律がある。他市等の例も検討しながら十分に検討していく。

火災の見舞金10万円とは低すぎないか?

Q 市民病院的安曇野赤十字病院でお産ができない!

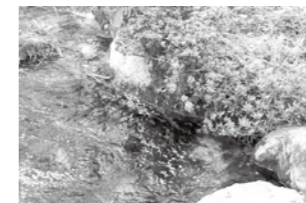
A 日赤ではお産ができない状況にある。また産婦人科医がやめてしまった状況も合わせてお聞きする。

Q 市民病院的役割のある日赤の産婦人科医師の確保については、機会を見て話をしている。市のホームページ等に医師確保のことに掲載している。

市民病院的安曇野赤十字病院でお産ができない!

Q 10月の地下水シンポジウムの開催について伺う。

A 地下水シンポジウムについては、10月11日、12日に開催する環境フェアとあわせて開催し、貴重な水資源を次世代に引き継ぐため、地下水保全について市民の意識の向上を図るために開催する。



Q 転作田涵養事業の11ヘクタールの実施状況と成果について伺う。

A 平成24年度から麦収穫後の7月から9月にかけて、水張り湛水事業を行っている。平成25年度は、約11ヘクタールで実施し、15万8000立方メートルを地下水として涵養できたと推計をしている。今後も、面積を増やしなが

Q 安曇野市の地下水採取審査委員会の開催状況を伺う。

A 地下水採取審査委員会は、平成25年度は4回開催し、計3件について審査をした。協議結果として、取水の削減、取水の中止を求めた案件はなかった。取水者からの、掘削データの提供などを求めた経過があった。

誇れる安曇野の地下水を守り子孫へ

平成25年度一般会計決算認定に対して
Q & A

平成26年度安曇野市一般会計補正予算(第3号)

これまでの予算の執行状況を的確に把握し、本年度の後期に必要な経費を積算したところ、予算に過不足が生じることが予想されたため、予算を補正します。

賛成多数で可決

補正前の予算額
436億4,900万円

補正予算額
10億8,700万円

補正後の予算額
447億3,600万円

歳入の主なもの

- 前年度繰越金 7億 9,764 万 3 千円
- 旧合併特例事業債 1億 9,030 万円
- 全国防災事業債 △1億 350 万円
- 森林健全化推進事業補助金 5,028 万 3 千円

△は減額です

歳出の主なもの

- 本庁舎建設事業 2億 2,279 万 4 千円
- 松くい虫被害対策事業 1億 1,119 万 8 千円
- 基金積立金 4億 3,000 万円
- 予防接種事業 3,782 万 8 千円

質疑

- Q 成人用肺炎球菌接種については、接種対象者及び自己負担額はどのくらいか。
A 対象者は、65歳の者及び60歳以上65歳未満の者で心臓や腎臓等に障がいのある者。自己負担額は2,000円である。

賛成

共通番号制度は、年金、雇用保険などの社会保障関係や確定申告などの税の手続などに利用される。国や全国の地方公共団体が一斉にシステムを構築。本庁舎建設事業については、工事請負契約のインフレスライド条項に基づき、労務単価、資材高騰分を慎重に計算した金額の補正予算であり、賛成する。

反対

共通番号制度の問題については、一人一人の人間尊重でその精神を大事にすべきである。本庁舎建設の問題は、インフレスライドについて十分審議されていない。この2点を中心に反対する。

討論



平成26年度安曇野市特別会計補正予算 (単位：千円)

特別会計	補正額	補正後額
同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計(補正第1号)	245	1,089
国民健康保険特別会計(補正第1号)	260,331	11,047,169
後期高齢者医療特別会計(補正第1号)	16,009	1,023,015
介護保険特別会計(補正第2号)	265	8,909,920
観光宿泊施設特別会計(補正第1号)	800	29,417
下水道事業特別会計(補正第1号)	9,464	4,342,288
産業団地造成事業特別会計(補正第1号)	±0	99,058



新本庁舎1階フロアイメージ図

平成25年度一般会計・特別会計認定に関する討論

新本庁舎で一体感の醸成はなるのか

議案第74号 平成25年度安曇野市一般会計歳入歳出決算の認定について

反対

新本庁舎建設事業は市民の中には賛否両論があり、住民訴訟も起こされてきた。財政的にも大きな負担になる。指定管理者制度の導入は、平成25年度は38施設、市全体では85施設になる。公の施設の民間市場への開放、企業参入を認めることは、自治体の本旨から外れる。

非正規職員が職員の半数近くを占める。保育士、幼稚園教諭は子どもたちの成長の重要な時期を担っている。専門職の身分は、正規職員として保障すべきだ。しゃくなげの湯の建設は、労務単価、資材の高騰により再積算が必要になった。根本的な見直しが必要だ。

賛成

平成25年度の重点事業である市民の一体感醸成のための本庁舎建設が始まった。工事の進捗状況は二度にわたる大雪や工事に携わる人手不足等があったが、工程どおりの出来高が確認された。指定管理者制度の導入は、民間事業者等のノウハウや経営手法等を活用し、利用者ニーズに対応

反対

したきめ細やかなサービス向上、民間ビジネスチャンスの拡大と経済の活性化にもつながる。非常勤職員の待遇改善については、正規職員は定員適正化計画に基づき採用を行い、減少する正規職員を補完する形で非常勤職員を配置し、随時、非常勤職員の待遇改善と賃金の見直しを行い、適正な雇用機会の提供をしている。

国保税の引き下げはできるのか

議案第76号 平成25年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

平成25年度末の支払基金残高は9億8779万4879円となっている。*パンデミック等に備え4億円から5億円の基金が必要だというが、倍の金額が残っている。平成26年度3月末の加入世帯は1万4620世帯で、差し引き8億円残る。現在、被保険者の約9割が年間所得200万円以下である。加入世帯1万円を引き下げ、家計の苦しい世帯に還元していくべきだ。

*パンデミックとは、感染症の全国的・世界的な大流行をいう。爆発感染なども表現される。

賛成

インフルエンザ等が流行するたびに数億円かかってしまう。



反対

支払基金残高は、1回で使い切ってしまう金額でよいのか。流行は春先と秋口と2回あるかもしれない。予想がつかない事態になった場合に基金が必要である。対応できるように基金は持っていないければならない。国保税率を改正しなくても健全な財政運営ができる。

民間委託で福祉の充実を図れるのか

議案第78号 平成25年度安曇野市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

地域包括支援センターは、とても重要な施設だ。指定管理という事で民間に出され、市の福祉政策の劣化が考えられる。

地方自治体の本旨である福祉を充実させ、市民の生活の向上を図り、安心した老後を考えるとき、市の職員が直接窓口相談に訪れた方々と相談の内容、困難を解決していくことで、市の福祉政策充実が図られると考える。

賛成

今決算は、適正に行われている。地域包括支援センターを直営から外し委託しても支援の後退はないと考える。



※インフレスライドとは…予期することのできない特別な事情により、請負代金が著しく不適当になったときに、金額の変更を請求できる措置

9月定例会で決まりました

可決

決議第2号

安曇野市議会のモラル確立に関する決議

反対の意見

この議決をあげる前にもっとすべきことがある。

賛成の意見

議員一人ひとりのモラル向上と議会基本条例第9章の倫理規定を守っていくことを再確認する決意である。

採択

請願第3号

「手話言語法」制定を求める意見書の提出を求める請願書

請願内容 自由に手話が使え、社会環境の整備、そして、手話を言語として普及・研究できる環境の整備を目的とした「手話言語法（仮称）」を制定すること。

→意見書を衆議院議長等へ提出しました。



不採択

陳情第8号

集団的自衛権容認の閣議決定を撤回し、閣議決定にもとづく法整備等を行わないよう関係機関に意見書を提出することを求める陳情

陳情に反対の意見

政府は平和な日本を守るために安全保障法制の整備を進めている。自衛の措置として武力行使の新3要件が出された。この動きの中で国会の議論に期待するので反対する。

陳情に賛成の意見

一内閣の閣議決定で憲法解釈をかえてしまうことは、憲法が憲法でなくなり、立憲主義を否定するものだと思う。集団的自衛権行使容認は速やかに撤回をし、法整備も行わないよう意見書を提出することに賛成。



採択

陳情第6号

私立高校に対する公費助成を願う陳情書

本会議での討論はありませんでした。

→意見書を内閣総理大臣等へ提出しました。

こんなことがありました

議員から発言の一部取り消しの申し出があり、さらに追加取り消しを求める動議が提出され、議決されたことに伴い、議長が発言の追加取り消しを勧告したところ、当該議員が拒否しました。

人事案件

長谷川 幹男さんの固定資産評価審査委員会委員を選任した。(平成26年11月9日から3年)
丸山 好夫さんの人権擁護委員の推薦について適任とした。(平成27年1月1日から3年)

質疑

Q

地方自治法第222条第1項には、予算が伴う条例や規定は、予算確保ができれば議会に提案してはならないとある。

今回の条例を見ると、色々な事業が計画されているが、当初予算にこのことについての予算が見当たらない。十分な予算確保はされているのか。



A

当初予算により、成人保健事業、母子保健事業において、ライフステージごとの歯科検診、歯科保健事業、フッ化物洗口に係るもの等、計上してある。基本的施策実施については、今年度は改めて予算計上することなく対応が可能である。



条例制定

健康を維持増進!

議案第65号 安曇野市歯科口腔保健条例

可決

安曇野市歯科口腔保健条例とは

歯科口腔保健の推進に関する法律（平成23年法律第95号）に基づき、健康を維持増進する上で重要な役割を果たしている歯と口腔の健康づくりの基本となる事項を定め、歯と口腔の健康づくりに関する施策を総合的かつ計画的に推進することにより、市民の生涯にわたる健康の保持増進を図り、健康長寿の確立に寄与することを目的としている。

条例改正

議案第90号 安曇野市特別職の職員等の給与等に関する条例の一部を改正する条例

入札情報漏えい事件の関係職員の懲戒処分に伴い、市長は10月から給与月額100分の10を3か月、副市長は同100分の10を2か月減給する。

可決

契約

穂高南小学校プール改築工事の請負契約を締結!

議案第96号

可決

1億5,498万円



改築を待つ穂高南小学校プール

契約

豊科公民館耐震補強・大規模改修工事の請負契約を締結!

議案第93・94・95号

可決

10億8,064万4千円

反対の意見

今後インフレスライドが入ってくる可能性もあるという落札の契約状況。さらにホール等の整備も検討しているというなら、セットで考えるべきであり賛成できない。

賛成の意見

予算の段階で認めているものである。最近、入札の不落・不調が続く中で落札できたことは良かったと思うので賛成です。

常任委員会で 審査しました。

福祉教育委員会

歯科口腔保健条例が制定されました

議案第 65 号 全員賛成で可決
安曇野市歯科口腔保健条例

Q 方向性は賛成するが、歯科医師会との連携は大丈夫なのか。歯科医師の方たちの技量を確認しているか。

A 今までも歯科医師会の先生たちと協議を進めてきた。先生方も研修をされており、今後も継続的に行動指針について協議を進める。

Q 条例の中にある、「市民の責務」が不明瞭ではないか。どのようなレベルを目指しているのか。

A 市民の方には早めの検診や歯科口腔の必要性を周知徹底し、「自分の歯は自分で守る」といった意識を持っていただきたい。

請願 1 件・陳情 1 件は 3 度目の継続審査となり審査未了

陳情第 3 号 賛成多数で継続審査
安曇養護学校に在籍する安曇野市在住の子どもたちの通学負担軽減のためのバス配置について

意見

・バスを市で配置するための予算は、バスだけではなく介助員も必要であり、まだ議論が必要だ。県の事業でもあり、市としての手続きの問題もある。しかし、垣根を越えた支援も必要だ。



安曇養護学校の視察風景

請願第 2 号 賛成多数で継続審査
子ども・障がい者等の医療費窓口無料化をもとめる県への意見書の提出を求める請願書

意見

・現状で市は貸付制度を行っている。県の方でも検討をしていると伺っている。

請願第 3 号 全員賛成で採択
「手話言語法」制定を求める意見書」の提出を求める請願書

・請願人の方に出席をお願いし、趣旨説明のあと、質疑・意見交換を行った結果、願意妥当と判断された。

建設水道委員会

大雪に備えて各地区に小型除雪機を!

議案第 66 号 全員賛成で可決
平成 26 年度安曇野市一般会計補正予算(第 3 号)(建設水道委員会所管事項)

Q 除雪関係機関との協議・連携はどこまで行っているか。また、除雪機の貸与は地域から要望が多い。地域の力を動員するためには機材をうまく活用してもらうことが大事だと思うが。

A これまで建設事務所と市と県の受託業者で意見交換をした。その中でオペレーターの確保が難しい、後継者がいないという意見があった。また、新たな業者選定も進めている。除雪機の貸与・拡大については、各区からの要望があるので、計画的に導入を進めていきたい。市ではボランティア保険として 1 区当たり 7 人を登録していただくよう各区に協力をお願いしている。



各区に配備される小型除雪機

水道事業会計の一本化と水道料金統一は?

議案第 87 号 全員賛成で可決及び認定
平成 25 年度安曇野市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について

Q 水道事業会計は平成 28 年度から企業会計として一本化していく予定と聞く。当然水道料金も統一すべきと考えるが、課題は何か。

A 5 つの事業の経営実態に相違はあるが、料金を平均化するという前提で考えると、豊科・堀金・三郷を値上げし、穂高・明科は少し下げて平等にする方向としたいが、どう理解してもらうか、そのプロセスが課題であり、水道事業運営審議会と相談しながら進めたい。

Q その辺を乗り越えて、平成 28 年度には統合できるような努力してほしい。また経営管理に精通した職員の育成について伺う。

A 平成 28 年 4 月 1 日から下水道事業も地方公営企業法の適用を進めており、一層の独立採算が求められることになる。簿記の知識や経営者意識が必要となるので、研修会への参加を進めている。経営感覚を養ってもらえるように人材育成をしていきたい。

総務委員会

平成 25 年度一般会計の議会、総務部、政策部、財政部、会計局、選管・監査・公平各委員会の決算は

議案第 74 号 賛成多数で認定
平成 25 年度安曇野市一般会計歳入歳出決算の認定について(総務委員会所管事項)

反対の意見

・自主財源と依存財源の比率で依存財源に頼りすぎ、財政力指数など関係比率でも決して健全財政と言えない。また財政計画でも市民の暮らしが良くなっていくことが考えられない。新本庁舎建設にも多額の起債があり、この償還が財政を圧迫していると考え反対する。

賛成の意見

・平成 25 年度決算は、十分に審議し成立した予算の決算であり、その内容に事業の成果が表れていると判断し、賛成する。
・新本庁舎の開庁に向け、窓口サービスの向上など市民サービスをより充実させる計画である。決算は市民の福祉向上や教育の充実など多くの実績が見られるため賛成する。

市議会議場に国旗・市旗の掲揚について意見

請願第 4 号 賛成多数で継続審査
安曇野市議会議場に国旗・市旗を掲揚するよう求める請願

意見

・国旗に敬意と誇りを持つことは国民として自然な感情であるが、議場については、新本庁舎が 12 月完成、来年 5 月開庁予定であり今後継続して研究する。

消費税 10% について意見

陳情第 9 号 賛成多数で継続審査
国に対し、消費税率 10% への増税中止を求める陳情書

意見

・政府は、年内の景気動向を見て消費税 10% について判断すること。今後の景気回復など地方経済の動向を研究する必要がある。



環境経済委員会

魅力ある「安曇野」経費削減と住みよい環境づくりに

議案第 74 号 賛成多数で認定
平成 25 年度安曇野市一般会計歳入歳出決算の認定について(環境経済委員会所管事項)

・耐用年数が満了を迎え、施設更新の時期は

Q 穂高クリーンセンターの焼却施設は、平成 30 年ごろ施設更新を目指しているが、どのような研究をしているか。

A 穂高広域施設組合のごみ焼却施設は、平成 6 年 9 月に稼働し、既に 20 年が経過。耐用年数が満了を迎えて、延命を図っている状態。平成 27 年度から次期ごみ焼却施設の処理方式の検討、28 年度からはごみ焼却施設に係る環境アセスに着手し、30 年ごろには施設の更新工事、33 年の稼働を目指す。施設の焼却方式、施設に併設されるサーマルリサイクル、熱交換施設、いわゆるごみ発電施設、バイオガスの発電施設の調査を行っている。



耐用年数がせまる穂高クリーンセンター

・施設の民間譲渡に向けた取り組みの課題は

Q ファインビュー室山等の施設の民間譲渡に向けた取り組みが課題だ。貴重な施設を民間に譲渡しなければいけないのか、市の利益につながっていくのか。

A 平成 23 年度に方向が出ており、第三セクターの見直しを行った後に譲渡という形で進めている。譲渡については、非常に難しい問題も多くある。第三セクターについては、株式の譲渡等を含めて処理していけばできる。

地域農業のための自己改革を進める支援を

陳情第 7 号 賛成多数で継続審査
農業改革における慎重な議論と自己改革を基本とした支援を求める意見書(案)の採択と政府への働き掛けについて

意見

・JA からの詳細な自己改革案というものが示されていない。国のほうもまだ整っていない。安曇野市の農業をどうしていくか、いろいろできた段階で検討すべきである。

※常任委員会とは、議会の中に常設されている委員会。議案や請願・陳情等についてより専門的に審査を行う。

9月定例会 市政のここが聴きたい!!

問 高家飯田区の旧羽田コンクリート工場跡地に、長野県下一の規模になる大型パチンコ店が出店することに関する質問する。初めに、当市の将来都市像と大型パチンコ店の出店および、閑静な住宅地区に大型パチンコ店が出店することについて、市長の評価と意見を伺う。



県下一の大規模パチンコ店の出店計画について

信政会 竹内 秀太郎

道路や小学校・中学校の通学道路になっている。通過車両が増え、交通安全の悪化が懸念されるが、周辺道路の改良や整備について伺う。



敷地面積 30,851㎡

大規模パチンコ店建設予定地

議案等の賛否一覧（賛否が分かれた事件）

○：賛成 ×：反対 議：議長（可否同数以外採決に加わらない）

Table with columns for proposal number, name, and 25 council members' responses (赞成/反対/議長).

私たちが審議した結果です

報告事項

Table of reports with columns: Report No., Title, Result.

健康・福祉

Table of health and welfare proposals with columns: Proposal No., Title, Result.

産業・経済

Table of industry and economy proposals with columns: Proposal No., Title, Result.

建設・水道

Table of construction and water supply proposals with columns: Proposal No., Title, Result.

教育

Table of education proposals with columns: Proposal No., Title, Result.

総務・財政

Table of general affairs and finance proposals with columns: Proposal No., Title, Result.

請願

Table of petitions with columns: Petition No., Title, Result.

陳情

Table of petitions with columns: Petition No., Title, Result.

議員提出議案

Table of council member proposals with columns: Proposal No., Title, Result.

人事

Table of personnel proposals with columns: Proposal No., Title, Result.

決議

Table of resolutions with columns: Resolution No., Title, Result.

※一般質問とは・・・「市政一般に関する質問」で、議員が市政課題等について取り上げ、行政に質問できる。



グローバル人材育成のための早期英語教育の推進を

信政会 林 孝彦

問 グローバル人材育成のための早期英語教育の推進の目標と施策は。

市長 早期からの英語教育の重要性は深く認識している。日常会話の力をつけるような施策を研究していきたい。

問 幼稚園、保育園、小中学校、放課後児童クラブなどにおいて、英語は。

教育長 徳高幼稚園では遊びの中で勉強し、小学校では英語の活動を、中学校では英語授業の他に希望者による英語課外授業を実施している。今後の対応を進めていきたい。

福祉部長 児童館の事業者とも協議しながら、遊びとして外国語にふれられるよう取り組みを計画したい。

問 政府のJETプログラム等の外国語指導助手（ALT）等の活用を。

教育長 現在の体制の中で子どもたちの学習機会をさらに増やしたい。松くい虫被害への対応について

問 松くい虫被害への対応に向けた目標と施策は。

市長 引き続き伐倒駆除を実施していきたい。守るべき松林を選定し、防除事業を継続実施していく。



松くい虫から守るべき松（豊科の八坂神社）

※JETプログラムとは：語学指導等を行う

外国青年招致事業



入札の不調・不落が続くことで計画変更がないのか？

公明党 小松 芳樹

問 最近の入札は、「アルプス保育園・しゃくなげの湯」と不調・不落が続いている。このままだと、実施計画が狂うだけでなく、住民サービスの低下にもつながりかねない。また、再入札の際、入札条件の緩和だけでなく、設計変更により安全面も心配されるが、どのように対応していくのか。

市長 東日本震災の復興事業・東京オリンピック建設事業等、建設工事の増加による作業員や技術員不足に加え、労務単価の上昇で人件費が高騰して、需要に供給が追いつかず、入札が不調・不落となっていることは、全国的な問題だ。当市においても、不調・不落が増えている状況である。そのことよって、発注を急ぐために設計変更を行って品質を落とすようなことはしていない。今後も、適正な品質確保には努めていく。「しゃくなげの湯」もこういった状況で計画を取りやめることはない。

区などの自治組織アンケート

問 数人の区長から聞き取りをしたわかったことだが、区によって運営や手



【その他の質問事項】
○地域包括ケアシステムの構築をどう進めるか



新年度から始まる子ども子育て新事業について

政和会 松枝 功

問 国の「子ども子育て支援新制度」に沿い、新年度に取り組む事業方針は。

市長 人口10万人を目指す上で、子育て支援事業の充実は政策の柱。新制度では3歳以上の「保育の必要性のない子ども」の保育園受け入れはできない。市内の公立保育園・幼稚園を、受け入れ可能な保育と幼児教育とを共に提供する認定こども園に移行していく。

福祉部長 認定こども園への移行は保護者への十分な説明を行い、2、3年後を目標に進めたい。認定こども園では、保育・幼児教育を含め福祉部の所管が適当と考えている。

問 小学生対象の「放課後児童クラブ」も、実施場所や所管の検討が必要では。

教育部長 「児童クラブ」と小学校で行っている「放課後こども教室」とを、教育部が一体的に実施すべきと捉え、国の示す方向も確認し、調整していく。

市長 新制度への移行を機に、子ども支援も、就学前は福祉部、就学後は教育部と所管部署の見直しを行いたい。

国道403号線整備事業について



国道403号線（潮沢入口付近）

問 国道403号線は、新矢越トンネルの開通により、通行量が増し、沿線住民の生活が脅かされかねない状態。明北小学校から奥の地区は道路整備の要望があるが、市の考えは。

都市建設部長 道路管理者の県が数年前に一度、整備計画をこの地区に示したが、理解が得られず中断している。ハードルは高くなってしまったが、この時点で、地域全体が協力するとまれば、県に熱意は伝わるはず。

市長 通学の子どもたちや沿線住民の危険な思いは承知しており、市としても地元関係者と力を合わせ、県に道路整備事業の実現を要望していく。



学校教育活動全体を通じて行う道徳教育の実践を問う

信政会 山田 幸与

問 文科省の小学校学習指導要領では子どもたちに確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視する『生きる力』を育むことが重要視されている。そこで、この社会性を養うための実践的教育活動について伺う。また、日常的に起こる人間関係のトラブルなどは教育活動を通じて、子どもへの心情をもとに丁寧な解決が行われているのか。

教育長 社会性を養うための基盤となるのは、自分をコントロールして行動する力。それを支えるのが、待つこと、我慢することである。それが人のためにならなければならない。それが人のために学級全体や個別での指導を行っている。また、人間関係のトラブルなどは、多くは適切に対応でき解決に至っているが、年に3、4事例、心の溝も埋められない深刻な事態も起こっている。市教委では、子どもの心に触れ、子どもと過ごす時間をどう捻出するかを課題に、学校の改善を進めている。

問 教員の資質向上を図るための具体的な取り組みについて伺う。

教育長 各校の重要課題である。市内

には子どもが生き生きと学習し、活動しているよい事例が多くある。各学校の研修に実践例の情報提供を行うなど、教育指導員を中心に取り組んでいる。

問 文化遺産の伝承者である先生方は、人が人を育てるという気概をもって指導していただきたい。言うなれば、もっとダイナミックになってほしいが。

教育長 現場へ帰ってぜひその熱い思いを伝えたいし、教師もまたダイナミックな気持ちで教壇に立ち、子どもたちを元気にしてほしいと思っている。

【その他の質問事項】

○産地化を目指す適地適作農業の推進



「あいさつ門」で元気よく！

※一般質問の詳細は、安曇野市議会ホームページに会議録があります。ご覧ください。（会議録ができるまでには2か月ほどかかりますのでご了承ください。）



読書通帳とセカンドブック事業の導入を提案

公明党 中村 今朝子

問 活字離れが指摘される中、子ども達に本を読む大切さや楽しさを教えていくことは、豊かな心や想像力を伸ばし、人生をより深く生きる力を身につけていくことにつながる。残念なことには、中学生以降の読書量は急激に低下している。文科省が事業委託した、実証的調査研究報告書の中には、読みた本がないのではなく、様々な本にふれ、関心を持つ機会が不足していると考えられている。子ども達の読書推進運動について市長の見解を伺う。

市長 次世代を担う子ども達の読書の機会の提供は、行政としても大切な役割である。今年度は、経験豊かな専門のコンサルタントに委託して、公共図書館と学校図書館の連携について提案をいただき、各年代に合った読書活動について、推進していきたい。

問 市内の小中学校での読書量や、読書運動の取り組みの状況を伺う。

教育部長 市内の小中学生の読書量は全国平均を少し下回っている。毎日ではないが、朝の時間を中心に一斉読書の時間を設けている。スクールサポート事業の中で、読書支援のサポートも



受けている。継続的な読書時間の取り組みが読書に関心を持つ機会の拡大につながると思う。

問 今までのような借りっぱなし、読みっぱなしではなく、読書履歴を残すことは子ども達の一生の宝になる。読書通帳の導入と、小学校に入学する子ども達に、自分で読む本のプレゼント、セカンドブック事業の取り組みを提案したい。

教育部長 前向きな提案を頂いた。読書意欲が高められるような方策を検討していきたい。

【その他の質問事項】
○ケアラー支援について



安曇野市在住の安曇養護学校の児童生徒の通学負担軽減

日本共産党安曇野市議団 猪狩 久美子

問 安曇養護学校では全校生徒188人のうち、安曇野市から109人が通っている。スクールバスを利用している98人中64人は安曇野市の児童・生徒だ。片道1時間以上もかけての通学は、障がいをもっている児童・生徒にとっては大きな負担だ。市内の小学校でもスクールバスを運行している。それと同じように考えられないか。また介助員として先生方が2人1組交代で乗っている。バス1台と介助員の支援はできないか。県と市の垣根を越えて要望に添えていただきたい。

教育部長 安曇養護学校は県立ということなので、県の動きを見守り、通学を含めた学習環境の改善を強く要望していく。

子ども・子育て支援新制度について

問 子ども・子育てで会議で検討されている内容について伺う。利用者負担について、国は上乗せ徴収、実費徴収してもいいと言っている。負担増にならないようにしてほしいが。

福祉部長 算定の方法が所得税ベースから市町村民税ベースに変更される。



介助してバスに乗車



新本庁舎の役割と市民サービスの向上について

信政会 宮澤 豊次

問 平成17年10月、旧3町2村の合併以来、市役所機能を一か所に収容する建物がなく分庁方式をとってきたが、新本庁舎の竣工が12月となり、来年の5月連休明けに開庁となる。「安曇野は一つ」の考え方と市民サービスの向上、行財政改革、経費の動向を伺う。

市長 分庁方式からの集約により、人物・時間の面で大きく節約効果が期待できる。情報の共有化、スピード化により市民サービスの向上が図られ、旧5町村間の一体感の醸成が高まる。市民窓口を1階に集約し利便性を図る。合理的な組織機構を確立させるとともに、防災機能の充実により市民の安全・安心を確保する。

総務部長 分庁方式の解消による行政経費の節減は、移動に要する人件費・公用車数・維持管理費・コピー機の台数などで約1億円を見込んでいます。

問 安曇野市が一つになれる大きな意味ある新本庁舎に、市民や市職員がともに活用できる食堂・レストランがなぜ建設できなかったかを伺う。

市長 必要最小限の庁舎としての考え



竣工間近な新本庁舎

から、後年度負担や建設費用面、民間に任せるところは、民間に任せたいという観点から設置をしなかった。

問 新本庁舎の周辺整備と電線類の地中化について聞きたい。

市長 敷地の28%を植樹帯とし、市の木であるケヤキを主にコナラ、クスギなど、中高木を約140本植樹。周辺の用地確保も検討していく。

都市建設部長 景観を阻害している電線類の地中化は検討しているが、国庫補助事業を活用した道路整備を行ったため、適化法の対象となっている。この財産処分制限期間が過ぎれば地中化の路線として対応していく。



新本庁舎建設費総額と財政計画・健全財政への影響は

日本共産党安曇野市議団 松澤 好哲

問 新本庁舎建設の総事業費と関連予算は。

市長 建設関係費は68億3000万円、周辺道路の改良等に2億7200万円である。維持管理費は、光熱水費を含め年1億4000万円の見込み。

問 25年度決算で起債総額は約875億円である。新本庁舎建設費約70億円の財政計画と健全財政への影響は。

財政部長 実施計画との整合性をとり、合併特例債を財源に、後年度の償還額に計上している。行政改革、経費の削減に努めていく。

安曇野市の平和のために共闘を!

問 集団的自衛権の閣議決定を容認せず、戦争に頼らない平和日本のために市民との共闘を呼びかけないか。

市長 閣議決定は非常に残念であり、平和主義が崩壊しかねない事態である。世界平和の実現に向け、平和首長会議に参加する予定である。率先した市民共闘の呼びかけは、慎重を期したい。

入札漏えい問題の対策は



新本庁舎

問 入札漏えい防止対策と任命責任は。また、体質に問題はないか。

市長 再発防止検討委員会を設置して検証している。最終的には公務員・職員のモラルが大切である。任命責任者として体制整備や検証を重ねるとともに、コンプライアンスデーを決め、不正をさせない職場づくりに取り組む。

水道事業の統合と料金統一について

問 水道事業の統合と料金統一問題は。上下水道部長 平成28年度に事業統合予定である。地域で経営状況に差がある中で、料金体系をどうするかは水道事業運営審議会でも検討する。

※一般質問の詳細は、各図書館に会議録があります。ご覧ください。(会議録ができるまでには2か月ほどかかりますのでご了承ください。)



合併9年間の検証と、今後の課題・将来ビジョンは

信政会 濱 昭次

問 合併特例に基づく5地域審議会は平成27年で設置期間が終わるが、合併特例の5年延長によるまちづくり計画を新たに構築する上での手法は。

市長 地域審議会は、法律に基づき平成27年3月31日までの10年間設置すると、安曇野地域合併協議会で決められた。この10年間に、協議書に基づき新市建設計画の変更に関する事項、新市の基本構想の変更に関する事項等について6項目の諮問をした。

また、審議会は、必要と認める事項を審議し、市長に意見を述べることであり、地域特有の課題についても提言がされてきたものと捉えている。

今後の地域課題等については、市民の皆さんが主体的に課題解決を行う全体的な組織の設置を検討していく。

少子・高齢化と人口減少

問 どの自治体も危機感を持つ少子・高齢化と人口減少の問題が、「日本創世会議」の報告書では、2040年に市の人口は7万8千人まで減少するとされている。さらに、高齢化率が近隣市より高く、若い世代の女性の出生率

は逆に最も低いと聞くが、この要因は。

市長 第2次安倍内閣において、地方創世担当が新設され、まち・ひと・しごと創世本部が設置された。これに期待をし、歓迎すべきと思っている。

日本全体の人口が減少し超高齢化が進行する中で、健康長寿のまちづくりを推進したい。人口減少社会から転換するのは容易ではないが、豊かな自然環境や文化、未来ある資源を活用した農・工・商の産業振興や地域の活性化、観光振興を図り、子育て支援、教育環境の強化に努めたい。



高家地区への大型遊技店の進出について

政和会 藤 原 正 三

問 遊技店(パチンコ店)周辺の道路特に堤防道路の状況は。

都市建設部長 梓橋北詰から長野自動車道のアンダーパスまでの1970メートル、幅員約6メートルがほぼ堤防道路で、国交省から占用許可を市が受けている。遊技場の西の市道は、2級1号線で、小・中学校、保育園へ通学・通園する子供も利用している。安全な交通環境を求め、西側の市道の出入りは限定し、堤防道路側の出入りを主として行うよう地元から求められている。事業者には堤防側の出入り口の設置を指導している。

問 周辺整備の費用と交通量の変化は。

都市建設部長 通学路側約250メートルに歩道整備計画を予定しているが、要する費用は、測量設計と工事で約4000万円を見込んでいます。交通量は昼12時間で、平日で3747台、休日は2457台と推計。今後、地元と協議をし、常に環境改善を行うよう、今後も指導していく。

問 一般論としてギャンブル依存について。

保健医療部長 市におけるギャンブル



大型遊技店の周辺道路状況

依存症の実態はつかめていないのが実態。パチンコなどを娯楽として楽しむ面もあるが、依存症と思われ、生活に支障が出るのであれば、市では相談窓口を紹介している。

問 雇用、税収は。

商工観光部長 雇用の面で一定のプラスの要素というものはある。
財政部長 法人市民税、固定資産税が見込まれる。また、遊技場ということではたばこ税も考えられるが、卸売業者が小売業者に売り渡したときに税が発生する。本遊技場は不確定のため、発生するかどうかは不明である。



小中学生の孤食・欠食が学びに及ぼす影響は

政和会 内 川 集 雄

問 孤食、欠食、個食、固食の頭文字をとって「コケッココ」と最近の食生活を表す言葉がある。市内小中学生の孤食、欠食が学び等に及ぼす影響についてお聞きする。

保健医療部長 一人で食事をする孤食は、家族団らんが持てない。好きなものを好きなだけ食べることは、偏食に繋がる。朝食の欠食は、昼食、夕食の摂取量が多くなり、過食、栄養バランスが悪化し生活習慣病の発症を助長する。朝食を欠食する子どもは、疲れ、いらいらする等不調を感じる割合が高い。孤食、欠食を減らすためには、子どもの頃から望ましい生活リズム、食習慣を身につける取り組みが必要と考える。

教育部長 調査対象は、小学6年生、中学3年生で朝食を食べない・あまり食べない小学生23%、中学生47%である。朝食と学力の関係は、食べている子どもの平均正答率が高い傾向にある。悲惨な交通事故を無くしたい「交通安全施策整備」

問 市長は平成25年6月6日県議会に

交通安全施策促進に関する要望書を出した。その後の対応を伺う。

都市建設部長 前年度より安曇野警察署分は2100万円増額した。交通安全事業予算は配慮して頂いている。

問 交通安全施策促進要望書には、交通事故発生箇所2か所が入っている。国道19号田沢(南原地区)と堀金烏川(倉田地区)だ。交通事故発生現場は最優先に実施して頂きたい。
都市建設部長 市長ともども、いろいろな機会でお話ししていく。

【その他の質問事項】
○安曇野ふるさと(納税) 寄附



市民の声が届かない交差点(堀金烏川倉田地区)

問 いまだに地域エゴが解決できない中、スポーツを通じて一日も早い市民の一体感を、今後スポーツ施設を含めて市はどのような計画を持っているのか見解と対策を伺う。

市長 体力の向上、健康増進にとどまらず、自己研さんや仲間づくり等大きな意味をもつスポーツの重要性はますます高まってきていると思われる。市民が一堂に会して交流を深め、市民としての連帯感を共有するとともに、スポーツの普及振興と一体感醸成を図るために、市民スポーツ祭を開催し更なる一体感を推進していく。スポーツは大切な施策の大きな柱の一つである。

問 公式スポーツ施設の整備計画の進捗状況について伺う。
教育部長 8月に庁内策定会議を開いた。外部を含め策定委員会のメンバーが決定次第、積極的に整備計画を進めていく。

問 公民館事業の連携と体育協会の法人化について聞きたい。
教育部長 同種目の競技団体の一本化については関係者に考えを聞く必要がある。



スポーツを通じて更なる一体感を推進するまちづくり

信政会 召 田 義 人

ある。体育協会の法人化については、協会が平成28年に向けて設立準備会を立ち上げて進めていくと聞いている。

問 市営球場の建設計画について伺う。
教育部長 財政的な面を含めて、十分検討して、施設の整備とともに現状をしっかりと分析し、年度末までには結論を出したいと考えている。

問 市内高校の再編について伺う。
教育部長 中高一貫校を含めて、県立ということで所管外ではあるが、第二期の県立高等学校の再編計画を待ち、市内校の存続に向けて、一層輝きを増すよう、地域住民とともに協力していきたいと考えている。



創立100周年を迎える穂高商業高等学校

※一般質問の詳細は、安曇野市議会ホームページに会議録があります。ご覧ください。(会議録ができるまでには2か月ほどかかりますのでご了承ください。)



望まないパチンコ店の出店を くい止めるには

無所属 増田 望三郎

問 開発申請が出る前に特別用途地域の指定をかければ、パチンコ店出店を止められる可能性があった。業者から市への正式な相談が3月28日、申請提出が5月2日。申請が出てからの対応では遅い。田園産業都市の理念にそぐわない開発から安曇野を守るためには、先取りして手を打つ必要がある。一方市長の支持者から「大型パチンコ店がやってくる件は、昨年10月の選挙前後に既に話題になっていた。市長も話を出してきた」と情報提供を受けた。公の場でしっかりと確認したい。市長はこの出店について、いつ聞いたのか。

市長 おそらく今年の3月頃だった。

問 望まない出店が二度と起きないように、開発事業の手続きの中に、区の同意を取りつけることを要件として追加することはできないのか。

都市建設部長 区だけではなくて、市民全体の話であり、都市計画というのは、どこかの地域を規制すれば、どこかの地域にその圧力はかかる。一地域だけの問題という限定をすることは望ましくない。



パチンコ依存症にならないよう…

ごみ処理業者の河川敷堤防の通行

問 裁判で業者は「河川敷堤防を利用することは違法な行為ではないことを安曇野市が明確に示した」と述べているが、この点はどうか。

都市建設部長 そのような発言はしていない。業者の発言は理解しかねる。大型車両が河川敷堤防を自由に通行してよいと認めたのか。

都市建設部長 通行権の自由ではなく、損傷をしない範囲での通行であれば自由使用の範疇だと言いつつ、何でもかんでも自由に使っているということではない。



防災力アップのために

公明党 藤原 陽子

問 大規模災害発生時、行政が機能を保ち、通常業務を行うための業務継続計画(BCP)の導入と、土砂災害危険箇所の基礎調査、土砂災害避難勧告発令基準について伺う。

市長 BCPの策定については、平成25年度から26年度にかけて策定している。危険箇所の調査状況は、平成21年3月末で、土石流及び急傾斜地は区域指定が完了している。地滑り区域は、本年度調査が完了する予定である。

総務部長 通常業務の中には、一時的にも中断が許されない業務もある。昨年度にはそれを特定する作業が終了し、本年度は、職員の参集体制、執行環境、資機材の点検について取り組み、年内に策定を完了する予定で、進捗率は大体3分の2という状況である。

都市建設部長 市内全域で土石流の危険渓流は125か所、特別警戒区域は111か所だが、上流に多くあり、人の住んでいる所は少ない。急傾斜は262か所、このうち251か所が特別警戒区域である。また、安曇野市の地層は3つに分類され、地質も調査した上で警戒区域を指定していく。土砂災



今年度の安曇野市防災訓練の様子



TPP問題をどう捉え 対応しようとしているか

無所属 萩原 勝昭

問 市民生活に多大な影響のあるTPP(環太平洋戦略的経済連携協定)をどう捉え、対応しようとしているか。

市長 日米首脳会談以後、実務者レベルでの調整が行われている。引き続き国の動向を注視したい。TPP参加で最も危惧されるのは混合診療(保険診療と自由診療)によって、保険制度が崩れる恐れがあることである。農産物についても、重要品目の聖域確保の公約遵守を強く望む。

問 TPPの問題を考えると、2012年12月の衆議院選挙時に自民党がTPPに関して公約している。ポスターには「ウソつかない。TPP断固反対。ぶれない」とあり、①聖域なき関税撤廃を前提とする限り、TPP交渉には参加しない②自由貿易の理念に反する工業製品の数値目標を受け入れない③国民皆保険制度を守る④食の安全・安心の基準を守る⑤国の主権を損なうISD条項には合意しない⑥政府調達、企業サービスなどでわが国の特性を踏まえる。以上24分野にわたるTPP問題の本質を公約としている。こ

れに反するTPP交渉参加には市長は態度を表明すべきではないか。

市長 農業については農業が営めるような方策を政府が示さない限り、TPP交渉には参加すべきではないと表明してきた。国の動向を注視しながら、農業振興のための要望活動を進めていきたい。

【その他の質問事項】

- 合葬墓の整備計画はどのようにしているか
- 田園産業都市のまちづくりと大型パチンコ店の進出計画について



TPP交渉参加11カ国



M産業の一般廃棄物処理業 許可更新をどうすべきか

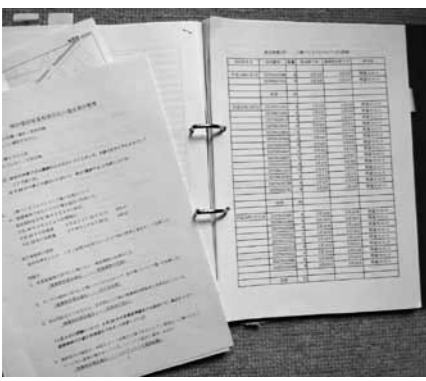
無所属 小林 純子

問 増田建設産業(以下M産業)に対し、防音壁に係る変更届等に不明な点があったため、県は業者に報告を求めているが、その後の県の対応と市の一般廃棄物処理業許可更新への影響は。

市民生活部長 市の照会に対して県は「本年7月31日付でM産業から回答があったが、いまだ明確でないこと及びM産業から報告書の一部について、後日報告する旨の申し出があったので、追加報告を待っている。今後、仮に(防音)壁の強度不足が判明した場合には、M産業に対して改善など必要な措置を講ずるよう指導する」とのこと。

問 県は建築基準法が適用される南側の防音壁(擁壁)については評価・検証できるとしながらも、その南側の壁について建築確認の完了検査を受けたかどうか不明、完了検査に必要な書類も写真もないと言っている。これは建築基準法違反ではないのか。

市民生活部長 建築確認の許可権者は県であるから、「もともと建築基準法違反ではなかったか」については、再度県に確認して対応する。M産業につ



M建設産業の情報公開資料等の数々

※一般質問の詳細は、各図書館に会議録があります。ご覧ください。(会議録ができるまでには2か月ほどかかりますのでご了承ください。)



農業振興と農村発展を目指す 農業改革を農協と共に！

日本共産党安曇野市議員 井出勝正

問 国の「農業改革」への考えは。
市長 あづみ農協より市に「自主自立を基本とする農業協同組合の維持・発展に関する要請」が提出された。「農業改革」は、農業の振興と農村の発展を目的とする改革であるべきで、地域に混乱を招かないように国に要請する。地域の農業協同組合の存在は重要と考えている。

問 PED（豚流行性下痢）を法定伝染病にして、農家を救える取り組みを県や国に要請を。
農林部長 家畜伝染病は畜産農家に大きな負担が生じる。県に支援を要請し、市でも何らかの支援策を検討していく。

問 18歳の高校生に自衛隊勧誘のほがさが届いたのはどうか。
市長 住民基本台帳法に基づき、一部を閲覧させ、その事実を公表している。問 「教育再生首長会議」への参加は。市長 通知なく内容も承知していない。問 道徳の教科化、国定教科書で進め、評価まで考える道徳教育は問題では。教育長 検定教科書の使用は教師の独自教材を使った教育が制限され、多様な考えを扱うことができなくなるので

はないかなど懸念を感じる。子どもたちの道徳性は一人一人多様だから、道徳的価値を教える指導のみに終始してはならない。現在は発展的・補足的な扱いは学校裁量の範囲として認められている。学習指導要領の改訂を注視していきたい。道徳性は児童・生徒の人格全体にかかわるものであり、生涯を通じて育まれるもので、他の教科の評価とは異なるものと認識している。

【その他の質問事項】
○北小倉区署名は市長が受け取りを
○羽コン跡地への遊興施設の進出は、田園産業都市構想にふさわしいか



稲刈りすすむ。コンバインも一服。

問 今年6月定例会の市長行政報告の中で、「緑に囲まれた安らぎを感じる環境づくり」のための生垣づくりや記念樹などを来年度から実施するための「緑化向上支援計画」の策定はどの程度進んでいるか。
都市建設部長 緑化率の現地調査の結果、昭和の時代の団地の緑化率が42.6%であったが、平成13年以降の団地が83%から12.7%の結果で田園エリアの目標率20%を下回った。そこで、市民の緑化に対する意識向上を図るため①新築や誕生日を記念し樹木を配布する。②新たな生垣の設置、ブロック塀を撤去して生垣にした場合の補助などを検討している。

問 具体的な事業として、オープンガーデンを市の政策に、また観光資源にできないか。
政策部長 花はまちづくりの重要なキーワード。花づくりはそこに住む人々の心の余裕であり、まちづくりそのものである。オープンガーデンを含めた花のまちづくりの研究をする。

商工観光部長 観光誘客を図る上で花の持つ役割は大きく、四季折々に咲く



増やそう生垣

緑化向上支援計画策定の進捗状況は

政和会 坂内 不二男

花の観賞が、来訪者の滞在時間の延長になるなど、誘客ツールの一つになる可能性はあると考えるが、協力いただけるかが課題の一つである。

問 難航している市道整備の現状と対応は
問 難航した現状が原因で、人命に係る事故があつてはならない。土地収用制度の導入は考えているか。
都市建設部長 難航している市道は11路線。市は事業の公益性、必要性から粘り強い交渉を通じ解決を図る。

また、職員も市民の皆さんに十分理解いただける専門的な技術力と知識の研さんに努める。

福祉教育委員会

- 8月6日 視察先 北海道釧路市立総合病院
目的 アレルギー外来の取り組みについて
- 8月7日 視察先 北海道釧路市役所
目的 生活保護自立支援プログラムについて
- 8月8日 視察先 北海道札幌市教育委員会
目的 学校給食におけるフードリサイクルの取り組みについて

ヨックの影響で急激に増えた生活保護世帯の対策として、自立支援プログラムを確立し、生活再建等、自立が進んでいる現状を当市にも活かしたい。
日常生活意欲向上支援からボランティアによる就業体験を通じ、就労自立プログラムの説明を受けた。単に就労支援だけではなく、受給者の自尊心の回復や、居場所づくりを重視している。

【北海道札幌市】

概要・考察 70%を超える地産地消での給食は、提供だけではなく、食べ残しや調理過程でのゴミをリサイクルで堆肥化し、それを農家に届け、その農場でできた作物を再び給食へ提供。学校教育現場においても、学習されていることに感心した。



釧路市立総合病院の看護師による説明

議会広報特別委員会

- 視察先 山梨県甲斐市議会および(株)会議録センター(埼玉県鴻巣市)
- 目的 読まれる議会だよりについて意見交換(甲斐市議会)、議会だよりの編集に関する研修(株)会議録センター)
- 期日 平成26年7月15日から平成26年7月16日まで

今年2月の視察研修では(株)会議録センターで編集の基本について学んだ。それを受けて作成した議会だより34号は、表紙の写真を大きくし、トップ記事には見開きで見出しをつけるなど、市民にとって読まれる紙面を意識した。結果、市民の方からも「読みやすくなった」「読みたくなった」などの声を頂いた。

また、我々も検討事項としていた「議案一覧」の掲載について、「資料なのか読み物なのか」という投げかけがあり検討。やはり議会だよりは市民に読んでもらうもの。単に一覧表をベタ張りするだけではない。ではどのように改善すればいいのかということ、会議録センター講師の方から、カテゴリー分け、色分け、該当ページなどとの関連性の3つの視点を留意する



どれがいいのかな？

2回目となる今回の研修では、初日山梨県甲斐市の先進事例を視察、2日目は(株)会議録センターで議会だよりのクリニックスを受けた。クリニックスでは、我々が手掛けた議会だよりの良かった点(表紙の全面写真、ページをま

【北海道釧路市】
概要及び考察 炭鉱閉山やリーマンシ

視察経緯 アレルギー疾患について、専門医による診療を希望する市民の声が多いため、アレルギー専門外来が設置されている公的病院を視察した。
概要及び考察 投薬では完治できない方のためにも、専門外来ができていくことは素晴らしい。ただ、課題として患者数が増加傾向にあるため、マンパワー不足とのこと。安曇野日赤にもできることを望む。

第1回議会報告会 市民の皆さんからのご意見への回答

今年5月に市内5会場で開かれた議会報告会において、参加された市民の皆さんから頂いたご意見やご質問に対し、議会・各委員会で調査・検討いたしましたので回答いたします。(回答：◎印)

議会改革推進委員会



- 議会基本条例に基づく市民との意見交換会の実現について**
◎議会基本条例に基づき検討し、議長のもとで行う。
- 様々な市の課題について、会派を超えて研究会を立ち上げ検討してほしい。**
◎議長のもとで政策討論会議や、議員間討論など再検討する。
- 議会の情報公開はまだ不十分。ホームページをもっと使いやすくすべき。**
◎順次改善に努め市民に議会活動がわかるように説明責任を旨としていく。その中でホームページの改善に努める。
- 議会基本条例の説明をする場があると、より開かれた議会になると考える。**
◎議会基本条例の説明は、今後、様々な機会に議会としての活動を通じて行い、市民への理解と条例の充実に努める。
- 議員の資質向上について**
◎なお一層の向上に努める。
- ある議案の提案経過の資料が見たいときがあるが、議会対応は可能か。**
◎情報公開の手続きのもとで、議会基本条例により対応する。
- 議会報告会の資料作りは、パワーポイントの使い方などもっと工夫を。**
◎議会報告会は議会と市民の重要な場であり、説明責任を果たすことが課題である。順次改善に努める。
- 議員視察の報告や政策提言に力を入れてほしい。(三才山トンネルの無料化、Iターン、Uターン・女性の農業者誘致、空き家活用等々について)**
◎産廃、松くい虫対策など議員間で意見交換会と視察を始めている。順次対応に努める。
- 各議員の活動状況がわかる「議員だより」のようなものを義務化してほしい。**
◎議員活動を活発に行い、各議員の活動が市民にわかるように努める。義務化はできない。
- 市民への報告会なのに、議会用語が多すぎてわかりにくい。**
◎改善に努める。
- 議会報告会は年に2回はやってほしい。**
◎議会基本条例の年1回以上行うという点から議員の総意で実現に努める。
- 意見交換の時間をもっととってほしい。**
◎議会基本条例に基づき、意見交換を行うよう前向きに努める。

総務委員会

- 市の財政や借金に関する市議会の認識について**
◎現在の予算を始めとする財政的な資料は、行政側より提出され、全ては市広報やホームページ等で公開されている。また今年度からは、行政側より主たる事業概要が議会に提出され、所管ごとに予算・決算・公債費等については議論を重ね、討論を尽くして最終的に多数決により決定している。現在の手法は、所管ごとに委員会付託の中で扱われるため、総務委員会が全ての財政や借金について決定する立場にはない。
- 三郷支所整備計画の経過は不透明なので、真相をはっきりさせるべき。**
◎この件に関しては、行政から穂高支所、堀金支所との整備計画と歩調を合わせるためだったとの答弁があり、特にその後関係者と協議を重ね、あるいは市民ワークショップ等を開催して、鋭意住民コンセンサスの構築に邁進していると理解している。



委員会で検討しました

環境経済委員会

- 松枯れ対策に関する市議会の取り組みや進捗状況について、議会として検証しているか。松枯れ対策のプロジェクトチームを作ったらどうか。**
◎議会として全議員による議員間討議、勉強会(所管部の説明を含む)、被害現状視察等を通じ、松枯れ被害の対策等を検証し、議長名で市長へ松枯れ対策に関する要望書を提出した(国、県に対しても同様に要望する)。プロジェクトチームを作ることを検討し、環境経済委員会がその職責を担いたいと考える。



議会広報特別委員会

- 議会だよりの紙質が良すぎるのではないかと、もっと経費節減すべき。**
◎再生紙を使用することにより、資源の有効利用を図り循環型社会の形成に議会として取り組んでいる。また、印刷業者と年間契約することにより、印刷用紙の大量購入による経費節減に繋がっており、本年度は契約済のため変更できない。なお、再生紙の更なる紙質については、来年度に向け調査検討する。

市長へ要望すること

- 明科公民館の職員数が減って困難な状況があるので、職員の確保・増員ができないか検討してほしい。**

貴重なご意見やご提言に感謝いたします。開かれた議会として、今後一層市民の皆さんに寄り添い、議会を充実させていきたいと思っております。

議員研修会にて公選法の勉強会を実施しました

安曇野市議会は8月22日、市選挙管理委員会を招いて公職選挙法の議員研修会を実施しました。特に、寄附行為についてはしっかりと時間を取って説明を受け、質疑を行い、理解を深めました。善意の思いをもってやっても、それが寄附行為となる場合があります。議員一人一人が認識を深め、改めて襟を正し、市民の皆さんと正しい関係でありたいと思っています。

寄附行為の禁止事項の例

- 地域行事、祭りなどへの寄附や差し入れ
- 開店祝いや葬儀の花輪
- 病気見舞い(親族以外)
- 中元・歳暮・入学・卒業祝い
- 代理出席の場合の結婚祝い・香典



研修会を経て、9月17日の全員協議会で再度議員全員で確認しました。

お願い

地元地域で行われる祭りなど各種催しに議員をご招待いただく際に、飲食を伴う実費、会費が必要な場合は、ご案内文の中でその旨と金額を明記して頂くようお願いいたします。

『寄附行為 しない、させない、求めない』

市民の

The Voice



声

議会に対して感じていること

平成

25年3月27日、新庁舎
起工時に「まちづくり・

防災の拠点となる庁舎は、市民の財産である」と市長はいさつで述べられた。ハード面の拡充を図ることはマクロな視点における市民の財産であろう。しかし、ミクロな視点で考えたとき、市の財産は市民ではないだろうか。

私

は、子ども達の中に少なからず親子の愛着の問題、家族の機能不全の問題が潜在しているように感じる。学校生活の中にも、それらの問題によると思われる子ども達の不安定さを垣間見ることがある。近年導入されている月に一度のスクールカウンセラーの訪問も、その効果については懐疑的にならざるを得ない。限られ



米村智深さん
(明科)

た短い時間の関わりの中で、子ども達の本当の心の声を聞くことの困難さ、短時間で聴き取った情報からの対応により、当事者の子ども達の心をかえって傷つける結果になっていることに、胸の痛む思いと危機感を覚えた。制度として専門家を配置することは時に重要なことだと考える。しかしそれ以前に、親子の愛着形成、家族機能の安定のために何が必要か。どのような施策を講じれば市民の日常の暮らしが豊かで安心できるものになるのかという視点にたって、議会として斬新な議論を展開して欲しいと願う。

最近、

女性の社会進出の促進を進める国の動向について、女性は家庭や子どもの

日常生活、心身ともに健全に育つ環境を維持してゆく事だけでも多大な努力と労力を要している。厚生労働白書の、男性が育児に参加することに對する意識調査報告によれば、「父親が外で働き、母親が育児に専念すべき」「父親は許す範囲内で育児に参加すればよい」と考えている男性が6割以上を占めており、男性が育児に費やす時間は1日あたり0.5〜0.7時間である。この結果を踏まえても、女性が家庭で家事を行い、子ども達と向き合う十分な時間を確保できることは次世代育成に重要なことであると考える。そのためには、家事労働に對して優遇される施策の立案を議会に期待したい。

編集後記



◆9月の秋晴れのなか、保育園と小学校の運動会にご招待いただきました。子どもたちの元気いっぱいの演技や競技に、こちらも元氣と勇氣をいただき、中でも、今年3月に卒園した1年生、まだ半年しか経っていないのに、たくましく成長した姿に大変感動しました。

ある新聞に、「共育が大切」とありました。共に育つ共育。「子は親の背を見て育つ」とよく言われます。結局は「子に親の何を見せて育てるか」が大切だと思います。私も、大人として人生の先輩として、3人の子の親として、お手本になれるような人でありたいと思います。 中村 今朝子

◆「光陰矢の如し」と申しますが、議会広報特別委員として議会だよりの発行に携わり、もうすぐ1年です。その間に、編集の力量を向上するための研修を2回行いました。市民の皆さんにより親しく読んでいただくためには、どのような議会だよりが良いか、編集方法や内容を毎回熟慮し発行しています。36号はいかがでしょうか。ぜひ皆さんの感想をお聞かせください。なお今議会では、発言訂正が多く見られ、慎重に発言したいものだと感じました。 一志 信一郎

議会広報特別委員会

- 委員長 坂内不二男
副委員長 増田望三郎
委員 林 孝彦 井出 勝正
一志信一郎 藤原 正三
中村今朝子 山田 幸与
内川 集雄 小松 芳樹

*気軽にご意見をお聞かせください。

平成 26 年安曇野市議会
12 月定例会会期日程 (予定)

11 月 26 日 (水) ~ 12 月 22 日 (月)
頃を予定。
皆様の傍聴をお待ちしています。

安曇野市議会だより 第36号

〒399-8211 長野県安曇野市堀金烏川 2750-1 安曇野市堀金支所内

平成 26 年 11 月 5 日 発行

TEL 0263-71-2156 FAX 0263-71-2150

http://www.city.azumino.nagano.jp/gikai/index.html
E-mail:gikai@city.azumino.nagano.jp

発行 長野県安曇野市議会
編集 議会広報特別委員会
印刷 有限会社安曇印刷

古紙配合率 80%
再生紙を使用しています。

